



社会医療法人
水和会

水島中央病院

病院案内

小児科



— 誠実、優しさ、安全をもって信頼される病院 —

目次

- 小児科のご紹介
小児科医師紹介
- 当院の概要
- 医局・当直室・救急処置室

当院の所在地

倉敷駅から水島臨海鉄道に乗り、20分程で行き来できる距離に位置しています。
倉敷市南部地域、特に水島・児島・玉島地区の二次救急医療を提供する病院としての役割を担っています。



水島中央病院 小児科のご紹介



地域の要望に応えられる小児科として、一般小児科疾患、アレルギー疾患、腎臓疾患（夜尿症を含む）、発達の相談、乳幼児健診、各種予防接種などの様々な診療、さらに非常勤医師による小児神経診療を行っています。

また、疾患によっては外科的治療が必要となる場合があります。このような直接当科で治療できない場合でも、最も治療に適する病院あるいは診療科へ紹介をさせていただきます。

小児科医師紹介



小児科部長 柴野 貴之（しばの たかゆき）

医師免許取得 平成17年

認定医・専門医・指導医

日本小児科学会専門医・指導医，日本腎臓学会専門医・指導医

日本小児腎臓病学会代議員，ICD認定医



副医長 澤根 佐保子（さわね さほこ）

医師免許取得 平成23年

認定医・専門医・指導医

日本小児科学会専門医



副医長 苔口 知樹（こけぐち ともき）

医師免許取得 平成23年

認定医・専門医・指導医

日本小児科学会専門医



医員（時短） 名木田 章（なぎた あきら）

医師免許取得 昭和52年

認定医・専門医・指導医

日本消化器病学会専門医

当院の概要

開設	昭和36年6月1日
組織	社会医療法人(認可:平成22年10月1日)
現病歴	平成11年11月1日に310床の水島中央病院を 急性期と慢性期病床に分離して新改築 ・水島中央病院(155床) ・倉敷リハビリテーション病院(155床)
標榜科	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、小児科、 アレルギー科、外科、整形外科、リハビリテーション科、形成外科、 脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、歯科、放射線科、 救急科、麻酔科(全19診療科)
	平成16年 基幹型臨床研修病院に指定 平成21年 電子カルテ導入
職員数	常勤医師29名(内 基幹型病院臨床研修医3名を含む) 全職員数約370名
病床数	6階 回復期リハビリテーション病棟 52床(個室10床)
	5階 一般病棟 52床(特定4、特別室1、個室7床)
	4階 一般病棟 51床(特定6、個室9、感染2床 地域包括ケア病床 個室2、相部屋9床)
患者数	1日平均入院患者数 116.1名(内科1日平均入院患者数 22.2名) 平均在院日数 一般病床 9.5日 1日平均外来患者数 557.2名(内科1日平均外来患者数 134.4名) (令和2年度)

医局内・当直室の様子

医局内は開放的な空間となっており、すべての医師に机を配しています。
医局・当直室ともにWi-Fi環境も完備しております。



医局



休憩スペース



当直室



シャワールーム

救急処置室の様子

救急処置室は2室備えています。
救急処置室2(左写真)では陰圧装置を設置しており、発熱患者の処置なども行っています。



救急処置室2

